

1 今年度の目標

・ホームページや広報誌を活用して八木 LMO の認知度を高め、情報発信と広報活動を充実させる。
・高齢者に限らず世代を超えた交流を図るため、構成団体と情報を共有し、多世代交流の機会を広げる。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	八木学区盆踊り大会	(10) 事業中 (1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 8 月 1 日	
(2) 実施場所	八木小学校	
(3) 参加者数	800 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 八木学区盆踊り大会実行委員会	
4 取組内容	地域住民の交流とつながりを目的として、八木学区盆踊り大会を開催する。会場では、地域に古くから親しまれている盆踊りを中心に、子どもから高齢者まで多世代が一緒に参加できる内容とする。また、町内会加入の有無にかかわらず、学区内に居住するすべての住民が気軽に参加できる行事として周知を行い、普段は地域活動に参加する機会の少ない住民にも参加を促す。運営にあたっては、地域団体やボランティアが連携し、安全管理や案内体制を整え、誰もが安心して参加できる環境をつくる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域行事の減少やライフスタイルの変化により、住民同士の交流の機会が少なくなっている。特に、町内会未加入世帯や子育て世代、若年層においては、地域とのつながりが希薄になりがちである。世代や立場を超えて気軽に参加できる盆踊り大会を開催することで、地域における交流のきっかけを創出し、顔の見える関係づくりを促進することを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 世代間交流が促進され、地域住民同士の相互理解と連帯感の向上が期待される。また、町内会未加入世帯を含めた幅広い住民が参加することで、地域活動への関心を高め、将来的な地域参画につながる効果が見込まれる。 さらに、継続的な地域行事の開催は、防災・防犯を含めた地域の見守り体制の強化にも寄与し、持続可能な地域コミュニティを構築することができる。	

1 事業名	八木ふれあい祭り	(10) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 11 月	
(2) 実施場所	八木小学校	
(3) 参加者数	5 0 0 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 八木学区ふれあい祭り実行委員会	
4 取組内容	八木ふれあい祭りの開催 舞台発表（神楽、サークル活動発表） 作品展示（子どもたち、地域の方） グラウンドゴルフ、ボッチャなど	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 「地域のこどもは地域で育てよう」という理念のもと、こどもたちと地域の人たちのふれあいの場をつくり、顔の見える関係づくりの機会とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 新しく八木学区で生活を始めた家族や、こどもたち・地域の人たちのふれあいの場をつくり、顔の見える関係づくりの機会を持つことで、住民が安心、安全に過ごし、子育て世代が安心して子育てができる。地域の伝統行事としての役割を果たし地域住民を密接につなげることができる。	

1 事業名	八木ふれあい駅伝	(10) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年2月7日	
(2) 実施場所	八木小学校	
(3) 参加者数	150人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 八木ふれあいの会	
4 取組内容	八木の地域で駅伝大会を実施 親子の部、小学生の部、中学生及び一般の部 地域の方が走路の見守りをはじめ、大会の運営を行い子どもたちと走る。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 子育て世帯が多く居住する住宅地域である一方、生活様式の変化や世代交代により、地域内のつながりが弱まりつつある。また、過去の災害を経験した地域として、日常から顔の見える関係を築くことが、子どもをはじめとした住民の安心・安全につながるものが改めて重要である。このため、本事業では、八木地域の象徴的な公共空間である八木小学校を会場に、親子から高齢者まで幅広い世代が参加できる駅伝大会を実施し、世代間交流と地域の一体感を育む場を創出することを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 駅伝大会を通じて、子どもたちと地域住民が同じ目標に向かって協力し、直接ふれあうことで、日常生活の中では生まれにくい世代間の交流が促進される。これにより、地域内で子どもの顔や家庭状況を把握する機会が増え、見守り意識の向上や防犯・防災面での連携強化につながることを期待される。さらに、地域行事として継続的に実施することで、子育て世帯が地域活動に参加しやすい環境づくりを進め、子どもが安心して成長できる地域、保護者が安心して子育てできる八木のまちづくりに寄与する。	

1 事業名	地区対抗グランドゴルフ大会	(10) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 5 月 1 7 日	
(2) 実施場所	八木小学校グランド	
(3) 参加者数	2 0 0 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 八木学区体育協会 八木学区老人クラブ連合会 八木学区連合町内会 八木学区地域運営委員会	
4 取組内容		
	地区対抗グランドゴルフ大会の実施 多世代の参加 町内会に入っていない地区住民の参加	
5 目的・効果		
	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 各町内会での活動が多いため、学区での大会を行うことで町内会所属の有無を問わず地域住民の交流を深め、友愛と活力に満ちた賑わいのあるまちづくりの推進を目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域に暮らす住民全てを対象に多世代が参加できる事業を行うことで、地域の一体感の醸成を推進できる。	

1 事業名	親子学習会の開催	(10) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年9月1日 ～ 令和8年9月30日	
(2) 実施場所	アオハタジャムデッキ・大久野島体験見学	
(4) 参加者数	30 人（見込み）	
(5) 主催団体	団体名 <u>八木学区青少年健全育成連絡協議会・八木学区母子寡婦福祉会</u>	
4 取組内容	施設見学を通じて、食品製造の工程や環境への配慮、リサイクルや持続可能な取り組みについて学ぶとともに、見学後には親子で意見交換や感想の共有を行い、学んだ内容を日常生活の中で実践できるように促す。また、親子及び参加者同士の交流を図ることで、地域のつながりを深め、安心して子育てができる地域づくりを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 親子で共に学び、体験できる環境学習の場を創出することで、こどもたちの学びを支えるとともに、親子及び地域住民同士の交流を促進することを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 親子で参加することにより、親子のふれあいを深めるとともに、ひとり親家庭を含む参加者同士の交流が生まれ、地域における見守りや支え合いの関係づくりが促進される。これらの取り組みにより、地域全体のつながりが強化され、より良い地域づくりにつながる効果が見込まれる。	

1 事業名	子供グラウンドゴルフ大会	(10) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 8 月	
(2) 実施場所	八木小学校グラウンド	
(3) 参加者数	30 ～ 50 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 八木学区体育協会	
4 取組内容	地域の小中学生を主な対象として事業を開催 年齢や運動神経の差にかかわらず誰もが参加しやすいグラウンドゴルフを通じて、参加者が仲間と協力し、ルールを守りながら競技を楽しむ機会を提供する。当日は地域住民や各種関連団体の協力を得て安全管理を徹底し安心して参加できる環境を整える。また、協議の合間や終了後に地域住民との交流時間を設け、世代間のふれあいを深める取り組みとする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 近年、子供同士や地域住民との交流機会の減少、運動不足の傾向などが課題として挙げられている。 こうした課題を踏まえ、子供たちが気軽に参加できるスポーツイベントを実施することで、運動を楽しむ機会を提供するとともに、地域とのつながりを再認識する場を創出することを目的とする。また、世代を超えて参加・協力できるグラウンドゴルフを通じて、地域コミュニティの活性化と、子供たちの社会性や協調性の育成を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 子供たちの運動習慣の形成や体力向上が期待されるとともに、仲間との交流を通じて協調性や思いやりの心が育まれる。さらに、地域住民が大会運営や応援に関わることで、世代間交流が促進され、地域の一体感や見守り意識の向上につながる。これにより、子供が安心して成長できる地域環境づくりが進み、地域課題の解決および地域力の向上に寄与することが期待される。	

1 事業名	メイプルカイザー公演	(10) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	八木小学校体育館	
(3) 参加者数	100 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 八木学区青少年健全育成連絡協議会	
4 取組内容	子どもから大人まで幅広い世代が安心して暮らせる地域づくりを目的に、広島市で活動するご当地ヒーロー「安芸戦士メイプルカイザー」を招き、啓発講演を依頼。ヒーローとしての活動を通じて培われた「命を守る行動」「地域のつながりの大切さ」「困ったときに声を上げる勇気」などをテーマに、参加者が自分ごととして考えられる内容を提供していく。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域住民にとって身近で親しみやすいキャラクターを通じて、安全・防犯・いじめ防止・地域連携の重要性を分かりやすく伝え、大人に対しても、地域全体で子どもを見守る意識を高め、地域コミュニティの活性化につなげる。メイプルカイザーの活動理念である「誰もが安心して暮らせる広島をつくる」というメッセージを共有し、地域の防災・防犯意識の向上を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 子どもたちがヒーローの言葉に強く反応し、防犯・安全行動への理解を深めることができる。「地域で子どもを見守る意識を持つ」「家庭でも安全について話す機会を増やす」など、行動変容につなげることができる。	

1 事業名	多世代交流カフェ	(10) 事業中 (8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年6月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	各町内会館（集会所）	
(4) 参加者数	50～80 人（見込み）	
(5) 主催団体	団体名 八木学区地域運営委員会	
4 取組内容	年4回実施（6月・9月・12月・3月予定）開催時間：90分～120分 音楽鑑賞（三味線、尺八、二胡など） 健康体操、来場者参加型レクレーション 地元野菜の販売 喫茶コーナー	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 誰でも参加できるお茶を飲みながら自由に会話する、交流カフェを各町内で開催し気軽に集える場所を提供することで、住み慣れた地域で楽しみながら暮し続けられるようにすることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 自宅にこもりがちな高齢者や子育て世代の出かける機会を作り、互いに交流することで元気に暮らことができる。また、世代関係なく、地域内での顔なじみを増やすきっかけづくりにもつながる。	

1 事業名	とんど祭り	(10) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年1月10日	
(2) 実施場所	太田川河川敷ふれあい広場	
(3) 参加者数	300 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 八木学区地域運営委員会	
4 取組内容	とんどの開催 ・中規模のとんど祭りを目標とする ・ぜんざい、豚汁の提供 ・凧あげ体験 ・各自治会、八木学区関連団体、消防団と連携し安全に配慮	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） これまで各自治会単位でとんど祭りが実施されており、高齢化や自治会加入の有無により、今後実施を継続する事が困難となることが考えられ、地域住民からも継続の意向も多く聞かれている。また、若年層に伝統行事を継承していく必要もあり、関連団体の協力を得ることで安心・安全な祭りを実施する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） お正月を体感し伝統行事の継承を図ることができる。 とんど・凧あげ等昔の遊びを取り入れることで年齢を超えた関わりを持つことができる。 関連団体との連携により、地域住民が安心感を得ることができる。	

1 事業名	マージャン大会	(10) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 3 1 日	
(2) 実施場所	八木集会所	
(3) 参加者数	2 8 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 八木学区老人クラブ連合会	
4 取組内容	健康づくりと交流促進を目的としたマージャン大会を開催する。 大会は健康マージャンのルールを基本とし、賭けを伴わず、だれでも安心して参加できる内容とする。 初参加者や初心者も参加しやすい環境を整える。 競技中は「考える」「話す」「指先を使う」といった活動を通じて脳の活性化を図るとともに、参加者同士の会話や交流を促進する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 「健康づくり・仲間づくり・生きがいつくり」を目的とし、日ごろの練習の成果を試す場を持つことで、意欲の向上につなげ、日々の取組の活性化を図り健康に暮らす高齢者が増えることを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 競技に取り組むことで、個々の意欲の向上や脳の活性化ができ、幅広い年齢層が参加することで地域交流促進となる。	